

たてくるジオパーク

だより 第45号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: https://tatekuro.jp/

f https://facebook.com/tatekuro

立春を迎えました。心配していた雪も、今のところ大雪になることなく降っては消えを繰り返して、少しずつ春に近づいているような気がします。一方コロナ禍の中予定されていた事業につきましては開催方法を変えたり時期を遅らせたりしながら実施しています。今回はESD講演会やJGN研修会、拠点施設の企画展などをお知らせします。

ESD講演会 持続可能な地域づくりの担い手を育む教育

「学校教育と立山黒部ジオパークとの接続
—新学習指導要領が描く世界（小学校から高校へ）—

1月22日（土）、富山県総合福祉会館（サンシップとやま）を会場に、ジオパークを活用したESDの在り方を考える講演会が開催されました。大正大学地域創生学部教授浦崎太郎先生をお迎えして「学校教育と立山黒部ジオパークとの接続—新学習指導要領が描く世界（小学校から高校へ）」と題して、「一人一人の自分らしく学ぶこと」の意味とその大切さについて、岐阜県阿寺断層学習プログラム、大正大学地域創生学部、南魚沼市ユキプロジェクト等、いろいろな実践例を交えて講演をお聞きしました。会場では30名、Zoom配信では19名の皆さんが熱心に浦崎先生の話に耳を傾けていました。



＜熱く語られる 浦崎太郎先生＞

＜講演内容（前半抜粋）＞

新学習指導要領では、学習者視点に立って自分の興味・関心を尊重した学び方を掲げている。小中学校での総合的な学習の時間、高校の探究の時間は自分の興味・関心を大切に、自分らしく学ぶカリキュラムである。

教育をうまく進めるには、1 いろいろなものに親しむこと、2 面白いと思ったことを学び深めること、3 実社会のために役立つこと…この3つを上手に関わらせることが大切である。

自分が世の中で活躍するには自分と世の中が相思相愛でなければいけない。自分らしく生きるためには好きなモノやコトに出会い、心惹かれて“恋”をしてその恋を成就させようと取り組むことが、活動の原動力になる。

学びも同様で、自分が恋するもの（興味・関心のあるモノ・コト）に出会えば、自然と探究を行い学びが深まっていく。無理やりふるさとの良さを示し強制的に学ばせなくても、心ときめくモノ・コトに出会えば、一人一人の子供や若者が主体的に好きなことに関わっていく。一人一人が良さを生かして地域社会に参加するようになれば、いろいろな活動の場を通して関わり合いながら学びを深め、ふるさと愛（愛郷心）が自然と育まれていく。

学校教育、特に義務教育の小中学校ではカリキュラムに余裕がなく、自分の興味・関心を生かして学ぶことが難しい。学校で習ったことをベースに博物館や各種団体など地域で行われているプログラムに自由に参加させるようにすればよい。

小中学校でよく遊び豊かな体験を行うことは、子供たちの感性を豊かにし自分の興味・関心のあるものを見つけていくきっかけになる。高校や大学では、探究の時間に好きなことをより深く学ぶことができるので、そのカリキュラムを大切にしたい。発達段階に合わせて、一人一人が自分の興味・関心に沿った学びを行うことで、自分が学びたい進路を決め、自立し社会へ参加・貢献していく若者に育っていく。ジオパークや博物館での活動は子供たちの興味・関心を刺激し、学びを深める出会いの場となる。自然の中で多様な出会いを提供できる場として、学校教育と社会教育をつなぐことができるのがジオパークである。

講演の後半は出席された方々から高校現場での探究の時間の在り方、教育関係の団体と学校や子供との接点の持ち方、社会人として働く目的やモチベーションの持たせ方等皆さんの質問が寄せられ、浦崎先生が丁寧に答えられる場となりました。

今年度本協会では、2回のESD講演会を行いました。6月の環境省の講演会ではジオパークの地域素材の教育での活用について、今回の講演会ではジオパークと学校教育や社会教育との連携について学ぶことができました。今後の活動に向けて生かしていきたいと思えます。浦崎先生の講演会の内容は、後日HPからYouTubeでご覧いただけるように編集予定です。

またいろいろな方々の参考になれば、うれしいです。

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

ふるさと素材

身近な地域に伝わる
自然・文化・歴史・
産業・人物等の
学習資源

教職的な技法

子どもの実態に応じて
意識変容を促す
最適のプロセスを
設計する力地域発!
ふるさと学習
プログラム

社会教育

(小中学校区等)

地域発!ふるさと学習プログラム

1月には JGN の研修会が開かれ、企業や団体と協働しながらジオパーク事業を進めていくための大切なポイントについて堅守しました。JGN 中部ブロック大会もオンラインで開催され、ジオパークを住民に広く知ってもらい楽しく活動に参加してもらうためのイベントの工夫について話し合われました。

1/25 JGN オンライン研修会

「多様な主体との連携・協働による事業づくりのポイント」日本 NPO サポートセンター杉原志保さんによる講演が開かれました。

人口減少、少子高齢化による自治体の財政難、職員数の減少、地域課題の多様化・複雑化などの実態から行政力や市民力の相対的低下がみられる。そのため、ソーシャルキャピタル（人々の相互関係の結びつきの仕組みを重要視する考え：社会関係資本）の必要性が高まっている。

その協働事業を進めていくためには、自分の運営団体の実現したいビジョン（未来像）とミッション（使命や役割）を明確にすること、また「自団体」と「行政」と「企業」の共有のビジョンを描き対話を重ね、実行していくことが大切であると話されました。

コミュニティを強化することで、地域が活性化する持続可能な未来へつながっていくのだと感じました。

自組織の運営力を高める

- ・人材の育成
- ・ネットワークの構築
- ・活動場所

団体の認知を高める

- ・活動や成果発表
- ・認知度向上

支援リソースを増やす

- ・資源

1/30 JGN 中部ブロック大会

中部ブロック恐竜渓谷ふくい勝山大会が開かれました。

記念講演「伝える」をデザインするー参加したくなるジオパークイベントとはーと題して（株）ジオラボ栗原健一さんが博物館の展示学を基にした、モノとコトとをつなげる方法についてお話をされました。伝えることは科学で、多くの人とつながるには見える化が大切。一方でお客さんによって浅く知りたい層や深く知りたい層があり、必要とされる情報量が違う。地元イベント・オンラインイベント、現地ジオツアー・バーチャルツアーなど、それぞれ誰に伝えるためのイベントなのかを明確にし、ニーズに合った企画が必要である。1度のイベントで全ての人に対応することは難しいことから、展示をしたり体験コーナーを作ったりして総合的に事業化していくことも必要である。

研究者・ガイド・自治体と課題を共有し「どんな人に」「何を」「何のために」「どのように」伝えていくかを考えていくこと、地域を大切に作る人づくりを行っていくことを大切にしたい。との話がありました。

講演会後のワークショップでは、イベントを行う時、いろいろな人が参加できるように、他団体、異種団体とコラボすること、どの団体も準備の段階から参加できるようにしていること、お知らせの情報発信を広く行うことなどの工夫が各ジオパークから発表されました。



立山黒部 GP でも会員や団体の皆さんと一緒にできる企画を工夫していきます。

開催事業のお知らせ

立山黒部ジオパーク協会 × 富山県自然保護協会 合同写真展

この度、立山黒部ジオパーク協会と富山県自然保護協会が共催で「奇跡の大地と自然の鼓動」写真展を行います。

「自然は大地が育むもの。その大切な自然を未来へ繋いでいきたい」という考えは、ジオパークも自然保護協会も思いを同じくするものです。

立山黒部ジオパーク協会では、ジオパークが有する宝物、貴重な見どころや風景、またジオパーク活動の紹介を行うことにより、ジオパークをより多くの皆さんに知っていただくよい機会にしたいと考えています。また、自然保護協会は、県内の美しい風景や貴重な動植物を紹介することにより、改めて富山の自然の豊かさとそれらを守り育てることの大切さを感じていただきたいと考えています。大地とつながる自然や文化、そして私たちの暮らし～ジオ・エコ・ヒトのつながり～の素晴らしさを写真展でご覧ください。

- 1 開催期日 令和4年4月8日(金)～令和4年4月11日(月) 午前9時30分～午後7時(最終日は午後5時)
- 2 会場 富山市ガラス美術館 キラリ 5階 ギャラリー1・2



この写真展では、会員の皆さんやガイドの皆さんがジオパークのステキな風景や活動中の写真、イラストなども一緒に展示をできればと計画中です。ジオパークを訪れた際の写真などお持ちの方は、協会までご連絡ください。

写真展の詳細スケジュールについては近日中に立山黒部ジオパークのホームページに公開します。

ホームページのお知らせからご確認ください。

E-mail: info@tatekuro.jp

HP: <https://tatekuro.jp/>

立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



(一社) 黒部川扇状地研究所

「令和3年度 冬季研究例会」



13時から開会。
15時30分からの渡邊学部長の講演の前には、富山大学の学生の研究成果発表もあります。



<日時> 令和4年2月19日(土) 13:00～17:00
<講師> 渡邊了
(富山大学都市デザイン学部地球システム科学科教授)
演題: 「黒部川扇状地の活断層について」
<場所> 入善町うるおい館 2階イベントホール1
<その他> 聴講無料
*詳しいことは、扇状地研究所にお問い合わせください。
TEL: 0765-72-0013
HP: <https://www.mrr.jp/~senjochi/index.html>

魚津埋没林博物館

「魚津ナチュラルギャラリー 22」



学芸員のレンズを通して魚津の多彩な自然を紹介します！
昆虫、花、動物、石、雪絵などなど、きれいで、不思議で、おもしろい場面がいっぱいです。きっと、自分のお気に入りが見つかります。

<期間> 2022年1月2日(日)～4月30日(土)
<場所> テーマ館 3階企画展示室

富山県【立山博物館】

冬の立山曼荼羅特別公開展「岩峠中道坊の立山曼荼羅」

江戸時代、岩峠集落の宿坊の一つ、中道坊(ちゅうどうぼう)に関わる立山曼荼羅2点を公開しています。一つは中道坊に伝わり、四幅一対で立山地獄を大きく描くなど、絵解きに使われたものに近い形態の「立山曼荼羅」中道坊本(個人蔵)です。

<期間> 2021年12月14日(火)～2022年2月27日(日)

<場所> 2階常設展示場
*詳しくはHPをご覧ください。

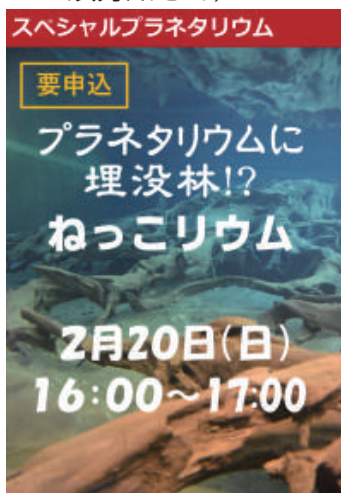
<https://www.pref.toyama.jp/1739/kensei/kouhou/houdou/2021/12gatsu.html>



富山県科学博物館

プラネタリウムに埋没林!?
ねっこりウム

埋没林が当館プラネタリウムに登場! 太古の森について紹介します。(講師: 魚津埋没林博物館 館長 石須秀知さん)



<日時> 2022年2月20日(日)
16:00～17:00

<場所> プラネタリウム室

<定員> 140人(先着)

<その他> 観覧料必要、申込必要。

*本イベントの申し込みは先着制です。抽選ではありませんのでご注意ください。

*新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今後の状況により定員を変更する可能性があります。

*申し込みについてなど、詳しくは、HPをご覧ください。
<https://www.tsm.toyama.toyama.jp/?tid=102963>

富山県立山カルデラ砂防博物館

「映像でみる立山、立山カルデラ、砂防」

【日時】 2022年2月12日(土)～2月27日(日)

【会場】 当館企画展示室

【観覧料】 特別展の観覧は無料

【問い合わせ先】
博物館学芸課

TEL: 076-481-1363

HP:

<http://www.tatecal.or.jp/tatecal/index.html>



国の重要文化財
白岩砂防堰堤



ドローンで撮影した立山カルデラの砂防施設や立山水河の映像を75インチの大画面で上映します。普段は、目にすることができない壮大な景色をご覧ください。

<お知らせ> 黒部市吉田科学館は2月28日まで、魚津水族館も3月4日まで館内工事のため、休館中です。魚津水族館 Instagram は更新しています。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



雪倉岳（白馬連山高山植物帯）一味違った高山植物たち

後立山連峰エリア（朝日町）

雪倉岳は、後立山連峰の白馬岳北方に続く稜線の一角を占める標高2611mの山です。南北に伸びる稜線の西側が富山県、東側は新潟県になります。山頂の南側には、山体がずり落ちてできたとされる、細長い窪地（線状凹地）をはさんで二本の稜線が走る“二重山稜”の地形が見られます。

さて、この雪倉岳は、特別天然記念物“白馬連山高山植物帯”の中にあり、多様な高山植物が見られますが、その顔ぶれは他の山域とはちょっと違ってしています。その理由はこの周辺の地質にあります。雪倉岳付近は、蛇紋岩が露出してニッケルやマグネシウムなどの金属成分が過剰な土壌のため、普通の植物の生育には適しません。それに耐えられるミヤマムラサキ、ウメハタザオ、タカネトウウチソウなど蛇紋岩地特有の植物群が見られるのです。

雪倉岳は、立山黒部ジオパークの自然サイトに登録されています。



雪倉岳



ワスレナグサに似ている
ミヤマムラサキ



<https://tatekuro.jp/enjoy/pointDetail.php?id=45>

協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順）でご紹介しています。

 関西電力 power with heart




関西電力株式会社 北陸支社

富山市東田地方町1丁目2番13号

TEL 076-432-6111

FAX 076-442-8219

医薬品容器・医療用具の総合メーカー
医薬品（液剤）の製造

 阪神グループ

阪神化成工業株式会社
阪神容器株式会社
ファーマパック株式会社

代表取締役社長 高田 健

TEL 076-429-1865 URL <https://www.hanshin-group.co.jp/>

会員を募集しています！



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。

興味のある方は、立山黒部ジオパークのホームページをご覧ください。か、立山黒部ジオパーク協会（076-431-2089）までお問い合わせください。

<編集後記>

写真展や新規ジオガイド養成講座など、新しい事業が少しずつ動いています。また以前お知らせした上市町稲村の露頭のほかにも、朝日町や立山町にある新しい露頭についても、時期を見て調査を始める予定です。山間部で見つかる露頭は、現地に出かけ、実際に見て触れて大地の歴史やその営みについて想像力を働かせることができる、また学習やツアーに活用できる露頭として貴重なものです。皆さんも「おや？おもしろい。」「なぜだろう？」という露頭や地形の発見があったら、お知らせください。新しいジオストーリーの発見につながるかもしれません。

先日、富山大学の都市デザイン学部4年生2名による「魚津断層と呉羽山断層のオンラインワークショップ」に参加しました。見えない断層について地域の公民館、防災士の方とともに話を聞きながら、地形の特徴を捉え、まずは断層の実態を知ること、いつ来るかわからない地震に対し、正しく恐れ備えることが大切だと感じました。

山も川も海も豊かな富山。防災は必須事項ですね。ハザードマップの確認、災害への備え、心しておきたいものです。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

